

カリセン

つうしん
通信 NO.129

京都市総合教育センター

カリキュラム開発支援センター

子どもに届く確かな授業をめざして！
明日の授業づくりをサポートします



令和6年1月号

カリセンでは、^{カリキュラム}教育課程の開発と研修を、支援しています。

KYOTO×教育 DX スタジオ活用のご案内

カリキュラム開発支援センターでは、京都市立学校・園の授業改善に向けた工夫や教材づくりについて、教育情報の提供を行ったり、サポートをしたりしています。

新しい年、令和6年が始まりました。今年の干支は「辰」。京都市の子どもたちの力が、昇り龍のように大きく上昇する一年となりますよう、令和の日本型教育の実現に向けて、カリセンメンバーが全力で支援していきたいと考えております。本年もよろしくお願いたします。今回は、「KYOTO×教育 DX スタジオ」の活用について、ご案内いたします。

総合教育センター3階に、「KYOTO×教育 DX スタジオⅠ」「KYOTO×教育 DX スタジオⅡ」の2つのスタジオがあります。

現在は、主に、教職員研修支援「SMART POTAL」で配信されている研修動画コンテンツを撮影・編集したり、研修で行われた講義や講演等を編集したりすることが多いのですが、教職員の方々が、自分で動画コンテンツを制作（作成・編集）できるシステムを用意しています。

これまで活用された中から、栄養教諭の方々によるアニメーション番組制作の例をご紹介します。小学校給食の「和（なごみ）献立」の内容を、子どもたちにわかりやすく紹介する動画で、栄養教諭の先生方が、みんなで集まって一つの番組制作をすることが、時間的に難しいところを、ICT環境をうまく活用して作成されました。

具体的には、はじめに、アニメーション作成を担当する方、ナレーションやセリフの吹き込みを担当する方等、上手に役割分担され、各自が自校で担当する部分を作成された後、オンライン上で映像や音声のデータをやり取りしてデータを集約し、番組制作の素材をそろえて、DXスタジオに1~2名で来室されるのです。

DXスタジオでは、編集システムを使って、音声のアフレコをしたり、BGMをかぶせたり、あるいは、アニメーションとセリフの微妙なズレを調整したりして、良質な番組に仕上げられました。

他にも、京都市少年合唱団の番組制作や研究発表会でのプレゼン作成に来室されているのですが、まだまだ、活用される方が少ないのが現状です。大変便利な機能でもあり、教育DX推進に有効な編集システムですので、他の学校や研究会などでも、大いに活用されてはいかがでしょうか。

DXスタジオ（編集システム）の活用に関しては、カリセンのKYOTO×教育DXサポートチーム（DsT）の職員が、丁寧に支援いたします。遠慮なく、お越しく下さい。



お問い合わせ：カリキュラム開発支援センター ☎075-371-2341

新しい本が入りました！

カリセンでは、これまでも教育関連の図書（本・雑誌・新聞等）や資料を配架し、貸出をしておりますが、日々変化していく教育の流れに応じた、新しい教育情報の提供にも尽力しています。

そのような中、毎年前期と後期に分けて新着図書を購入し、配架・貸出をしています。このたび65冊の『令和5年度後期新着図書の配架・貸出』を始めましたので、紹介をさせていただきます。

どうぞ、この機会に、新しく入った図書を読んでいただき、新しい教育情報を手にしたり、心のたくわえにしたりしていただけたらと思います。多くのみなさんの閲覧・貸出のご利用をお待ちしています。

図書名	著者名	図書名	著者名
京都市発！子どもの学びを広げる事務職員の挑戦	有澤重誠・増田真由美 水口真弓・小楨博美 川井勝博	「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価完全ガイドブック 中学校美術	東良 雅人 竹内 晋平
暴走する能力主義	中村 高康	新3観点の学習評価完全ガイドブック 中学校美術	竹内 晋平 東良 雅人
ストレス脳	アンデシュ・ハンセン	あなたに贈る21の言葉	水谷 もりひと
すぐに使えて一生役立つ大人の語彙力	リベラル社	ものがわかるということ	養老 孟司
人新世の「資本論」	斎藤 幸平	子どもを伸ばす言葉実は否定している言葉	天野 ひかり
ウェルビーイングな学校をつくる	中島 晴美	子育てコーチングの教科書	あべ まさい
子どもの発達格差	森口 佑介	子どもが教育を選ぶ時代へ	野本 響子
「男女格差後進国」の衝撃	治部 れんげ	ジェンダーがよくわかる本	瀬地山角・中村圭
福田村事件	辻野 弥生	実践知	金井壽宏・楠見孝
荷を引く獣たち	スナウラ・テイラー	職員室をつくる承認の科学	片山 紀子
京都 未完の産業都市のゆくえ	有賀 健	頭のいい人が話す前に考えていること	安達 裕哉
ルポ誰が国語力を殺すのか	石井 光太	ソーシャルデザイン 実践ガイド	笈 裕介
AIに意識は生まれるか	金井 良太	冒険の書	孫 泰蔵
人生を変える！ 「コーチング脳」のつくり方	宮越 大樹	だから僕たちは、組織を変えていける	斉藤 徹
校閲記者も迷う日本語表現	毎日新聞校閲センター	学校がしんどい先生たちへ	ゆきこ先生
保健室でのアンガーマネジメント	本田 恵子	「うまくいかない」から考える	片山 紀子
6つのプロセスで理解する 令和の学校マネジメント	日渡 円 葛西 耕介	本当は大切なのに誰も教えてくれない VUCA時代の仕事のキホン	河野英太郎
小学校 見方・考え方を働かせる問題解決の理科授業	鳴川 哲也	小学校算数「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	加固 希支男
仕事もプライベートもうまくいく 「幸せ先生」のグンドリ術	澤田 真由美	いじめを重大化させない Q&A 100	嶋崎 政男
教材研究×音楽	『授業力&学級経営力』編集部	はじめての理科専科	大崎 雄平
「自立した学び手」が育つ 算数の授業	全国算数授業研究会	トラウマインフォームド サポートブック	大岡 由佳

言葉かけから見直す「不適切な保育」脱却のススメ	菊地 奈津美 河合 清美	学びをつなぐ！ 「キャリア・パスポート」	国立教育政策研究所
子どもの心の受け止め方	川上 康則	子どもの偏食外来	大山 牧子
安心ミライへの「金融教育」ガイドブックQ&A	三井住友トラスト 資産のミライ研究所	レッド	マイケル・ホール//著 上田 勢子//訳
食で考える日本社会	プレフューメ裕子	あかくてあおいくれよんのはなし	上田 勢子//訳
中高生のためのSSTワーク 学校生活編	濱野 智恵	GIGAスクール・マネジメント	佐藤 明彦
中高生のためのSSTワーク コミュニケーション編	濱野 智恵	中高生のための学習サポートワーク 言葉・読み方編	濱野 智恵
4達人に学ぶ！究極の英語授業づくり&活動アイデア	瀧沢 広人	中高生のための学習サポートワーク 書き方・作文編	濱野 智恵
中学校英語帯活動&単元末タスク活動アイデアワーク	野坂 良太	板書で見る全時間の授業のすべて 特別の教科道徳 中学校1年	田沼 茂紀
民主主義と教育の再創造	日本デューイ学会	板書で見る全時間の授業のすべて 特別の教科道徳 中学校2年	田沼 茂紀
先生、どうか皆の前でほめないで下さい	金間 大介	板書で見る全時間の授業のすべて 特別の教科道徳 中学校3年	田沼 茂紀
小学校社会科実践の不易	出井 伸宏	小学校個別最適な学びと協働的な学びをつなぐ国語授業	全国国語授業研究会 筑波大学附属小学校
		A Iって何だろう？	関 和之
		最強の事務職員、本気の学校改革	高妻 三郎



新着図書の一覧をご覧になって、読みたい本がありましたら、遠慮なく電子メールで貸出申込書を送付してください。

(電子メールでの貸出申込の方法は次のページに掲載しています)

なお、うれしいことに新着図書はたくさんの方からの貸出希望があり、すでに貸出しされていることがあります。

その場合は、電話または電子メールで連絡をさせていただいた上、貸出し予約として受け付けさせていただき、前に借りている方が返却されたのち、文書交換メール便でお届けさせていただきます。

貸出方法…貸出申込書を電子メールに添付し「カリセン」に送付してください。

貸出申込書は、以下の方法でダウンロードできます。

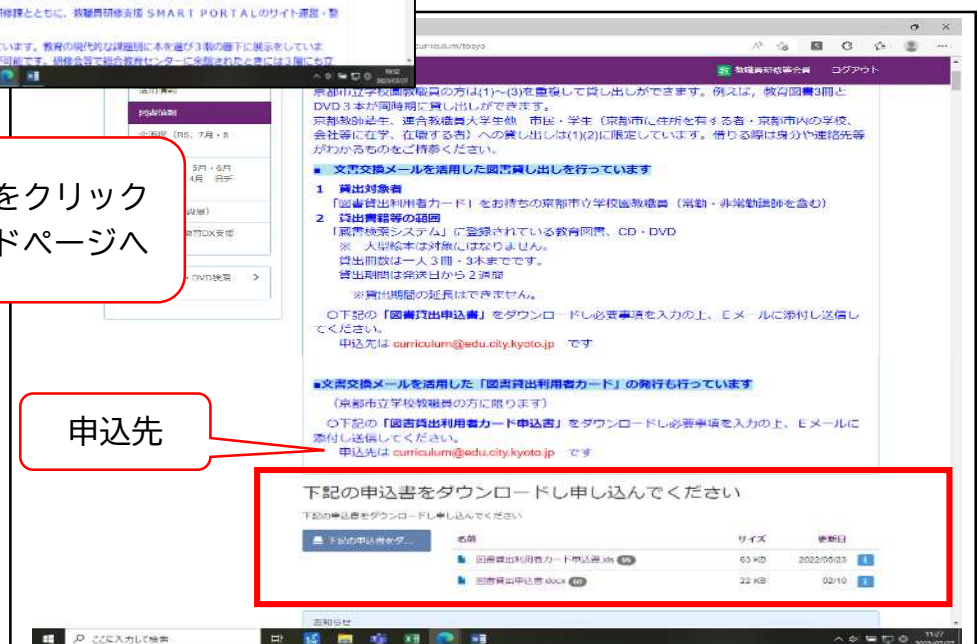
① SMART PORTALに入る。



②「カリセン」をクリックしてカリセンのTOPページへ



③「図書情報」のタブをクリック貸出申込書ダウンロードページへ



電子メールの宛先

curriculum@edu.city.kyoto.jp



図書案内



はじめての
大崎
雄平
理科
専科
東洋館出版社



GIGA
スクール・マネジメント
佐藤
明彦
時事通信社

理科を初めて指導する、教員歴は長いがあまり理科の指導をしたことがない、苦手なのに理科専科になってしまった…そんな先生方に最適な1冊。授業で困った時の対処法から準備はどうする？安全で使いやすい理科室とは？などが分かりやすく説明されています。

著者は現役の京都市小学校の先生。おすすめのアプリやサイトの中には「京都市青少年科学センター理科オンライン事典」も出てきます。

一人一台のデジタル端末配備による学校のICT活用が、短期間で大きく伸びた熊本市。もともとはICTが「嫌い・苦手」な人たちの視線を大切に行われた様々な取組が「横から横へ」と広がり、授業改善につながっていく様子が紹介されています。「推進チーム」や「ICT支援員」の取組と、それを支える管理職のマネジメントについても詳しく書かれており、それぞれの立場で活用促進のためのヒントが見つかると思います。

1・2月の企画展

「KYOTO×教育DX」の実現に向けて

～全ての子どもが自らの可能性を最大限発揮できる、新しい教育の創造～

令和6年1月12日(金)～3月2日(土) 総合教育センター3階 エレベーターホール前

1. デジタルならではの強みを生かした学習活動の充実
2. デジタル社会の善き担い手の育成
3. 誰一人取り残さない、個に応じた指導・支援



十日ゑびす



餅花飾り

特設展 「京都を学ぶ」
～「伝統と文化を受け継ぎ、

同時開催しています！

次代と自らの未来を創造する子どもの育成」をめざして～

「京都の歴史《昭和～今》」写真集を中心に



■カリセン開室時間(通常)

※令和5年4月より、開室時間に変更になりました。

月曜日～金曜日…午前9時～午後8時15分 (第1月曜日と毎週木曜日は午後5時15分まで)

土曜日…午前9時～午後5時

1・2月の土曜開室日: 1/6、20 2/3、17